

2015 年度前期授業アンケートまとめ

1. アンケート結果の概要

1-1. 実施趣旨と従来との変更点

【授業アンケート実施目的】

- (1)科目担当者が個別に、またはオムニバス科目の担当教員が相互に課題を共有し、授業改善を行うためのデータを得る。
- (2)学部学科としてカリキュラムを改善するとともに、大学として組織的な教育改善に取り組むためのデータを得る。あわせて、教育力の向上を点検するためのデータを得る。
- (3)授業に対する自身の取り組み方について学生の振り返りを促すとともに、学生の学習姿勢・理解度・満足度を知るためのデータを得る。

【従来との変更点】

上記実施目的に大きな変更点はない。

1-2. 調査対象

今回の授業アンケートの調査対象科目は2015年度前期および夏期・秋期集中開講の全科目を対象とした。アンケート回答者は受講登録をしている学部学生とした。大学院生については、各授業担当者により自由記述のみの回答用紙を配布回収し、集計・統計等には反映させないこととした。

1-3. 調査期間

【前期】 2015年5月25日(月)～2015年8月3日(月)

【夏期秋期】 2015年8月4日(火)～2015年9月18日(金)

授業時間を15分ほど利用し、学生所有の携帯電話、スマートフォン等より、Web上での回答とした。授業内に回答できない学生については、当日中にPC教室等から回答するよう指示した。なお、回収率(回答者延数/受講者延数)は54.13%であった。

1-4. 調査設計

調査項目の基本構造については、2014年度とほぼ同じ内容としたが、設問数および設問内容に変更を加えた。設問については別紙資料【設問一覧】を参照のこと。

- (1) 各授業の教育目標についての項目/全科目共通の9項目と各授業で指定した項目
- (2) 授業についての自由記述/全科目共通の4項目

授業科目単位の集計結果および学生の自由記述は、教学向上を目的として、授業担当者(オムニバス等の科目については担当者全員)が閲覧し、教員コメントをWeb上から入力する方式とした。なお、データ分析、まとめは授業科目単位で実施し、科目群の加重平均を出すこととした。

2. アンケート結果の特徴と傾向

集計は「基礎教育科目群」「教養教育科目群」「資格・キャリア科目群」、および各学科(一部コース・学系)の「専門教育科目群」ごとに行い、加重平均と標準偏差を算出。それぞれ、集計表とグラフを作成した。集計にあたって全体平均値 4.00 以上を青色、3.00 未満を黄色に色分けをした。なお、全④の設問は集計から除いている。

設問内容に変更を加えたため、前年度との単純比較は難しいが、同内容の項目(教①～⑦)における推移、事前事後学習について主に分析した。

2-1. 科目群別の分析 別紙資料

【全体】

- 全体のおよそ6割の項目で平均 4.0 ポイントを上回っている。
- 「全④事前事後学習」においては、学科により偏重が見られる。
- 前年同期と同じ質問項目である「教①知識・教養の修得」において、多くの前年を下回っており、平均 0.24 ポイントのマイナスになっている。

【基礎教育科目群】

15項目中11項目で4.0ポイントを上回り、「教①知識・教養」の項目以外は昨年度より改善がみられる。一方、「心⑤人との協働・コミュニケーション力」は3.76ポイントと最も低くなっている。「全④事前事後学習」においては、しなかったと回答した割合は33.4%であった。

【教養教育科目群】

昨年設定項目と同内容である教①～⑦において、「教①知識・教養の修得」以外の項目は、すべて昨年の値を上回っている。しかし、「全④事前事後学習」では、しなかった学生の割合が61%と大きく突出している。

【資格・キャリア科目群】

「教①知識・教養の修得」で0.09ポイントの減少があったものの、教②～⑦においては+0.03～+0.16ポイントの改善がみられた。また理解度・受講態度・授業内容についての設問「全①～③、⑤～⑨」において、すべての項目で4.0ポイント以上となっている。

【日本語日本文学科 日本語日本文学コース科目群】

教①～⑦においては、「教①知識・教養の修得」「教②学修への態度・心構えの養成」の2項目で減少があったが、全体平均は4.07ポイントと高い結果が出ている。

【日本語日本文学科 書道コース科目群】

15項目中すべての項目が4.12ポイント以上となっている。全体平均も4.53と高い結果がみられ、特に「全②授業内容への興味・関心」「全③意欲」「全⑨総合判断」の三つの項目で3.70ポイントを上回り、積極性を持って臨んだことがうかがえる。また、「全④事前事後学習時間」においても、3時間以上と回答した比率が全体の21%と、最も高い値である。

【歴史学科科目群】

全体平均としては4.08ポイントと堅調な値である。「教①知識・教養の修得」は前年同期より-0.46ポイントとなったものの、「とてもそう思う・まあそう思う」の割合が6割を超えている。

【文化財学科・歴史遺産学科科目群】

教②～教⑦においては+0.11～+0.39 ポイントの上昇が確認できる。「教①知識・教養の修得」においては-0.47 ポイントの減少、「教②学修態度と心構えの養成」は前年同期比+0.09 ポイントとなった。

【児童教育学科科目群】

22 項目中 19 項目で平均 4.19 ポイントと高い水準であり、「教④異文化理解力の養成」「教⑤課題解決能力の養成」「教⑦コミュニケーション能力の養成」についても 3.90 ポイントを上回っている。しかし、「全④事前事後学習時間」においては 54%がしなかったと回答しているため、引き続きの指導が求められる。

【英語コミュニケーション学科科目群】

平均 4.09 ポイントと高めの水準であり、特に全①～⑦においては平均 4.22 ポイントである。しかし、「教①知識・教養の修得」においては前年同期に比べて 0.28 ポイントの減少となっている。「全④事前事後学習」においては、まったくしなかった学生は 29%と、比較的低い割合である。

【経営学科科目群】

「教③価値形成の実現」(-0.02 ポイント)、「教⑥論理的分析能力の養成」(-0.06 ポイント)で減少が見られたが、「教⑦コミュニケーション能力の養成」は+0.3 ポイント上昇した。

【都市環境デザイン学科 都市デザイン学系科目群】

「教①知識・教養の修得」においては前年同期比-0.17 ポイント(3.98 ポイント)となったが、教②④⑤⑥⑦においては+0.15～+0.21 ポイントの改善が確認された。「全④事前事後学習」においては平均 1 時間以上学習した学生の合計は 32%であり、上位の数値ではあるが、この層を厚くしていく対策が必要と考えられる。

【都市環境デザイン学科 救急救命学系科目群】

全体平均は 4.43 ポイント、23 項目中 19 項目で 4.05 ポイントを上回る、高い結果が確認された。特に「救③論理的思考能力・コミュニケーション力・リーダーシップの修得」では 4.68 ポイントと突出している。「全④事前事後学習」においても、平均 1 時間以上学習した学生の割合が合計 34%となり、全学科の中でも上位の割合である。

【看護学科科目群】

全ての項目で 4.0 ポイントを上回り、平均も 4.40 ポイントと非常に高い水準である。「教①知識・教養の修得」では前年同期比-0.14 ポイントとなったが、「全④事前事後学習」の 1 時間以上学習した学生の割合は 37%であり、定着が確認される。

【理学療法学科科目群】

教①～④、⑥～⑦においては「教②学修態度・心構えの養成」以外で前年同期比-0.04～-0.32 ポイント減少しているものの、全体的な平均としては、「とてもそう思う・まあそう思う」と回答した割合が6割を超えており、堅調である。

【心理学科科目群】

全①～③、⑤～⑨の項目においては平均 4.14 ポイントと堅調さがうかがえる。「教①知識・教養の修得」では-0.14 ポイント減少(3.89 ポイント)となってしまったが、前年 3.68 ポイントだった「教⑤課題解決力の養成」が 3.83 ポイントまで改善されている。

【参考資料】事前事後学習時間についての集計表 ※別紙資料

全④ あなたはこの授業について1回あたり平均で何時間学習しましたか。

3. 基本データ

3-1. 基本データ

時間割開講曜日・開講時限、科目名・クラス、担当者データを選択し、
授業登録学生のみ回答できるシステムとした。

3-2. 授業についての選択項目

教育目標に沿って授業科目毎に設定された項目について、
[1: とてもそう思う 2: まあそう思う 3: どちらともいえない 4: あまりそう思わない 5: まったくそう思わない]のうち、もつともよくあてはまると思うもの一つのみ回答させた。

3-3. 授業についての自由記述項目

選択項目以外に、自由記述式で授業について以下の4つの質問を設定した。

- ① この授業のどの点がよかったですか。
- ② この授業のどの点がよくなかったですか。
- ③ よくなかった点を改善するためにはどうしたらよいと思いますか。
- ④ その他この授業で感じたことを自由に記入してください。

3-4. 回答・集計方法

(回答) Web 上で ID/PW の設定を行い、授業登録者のみが該当授業の回答をするように制御した。

(集計) 集計後、授業担当教員が担当科目のアンケート結果を Web 上で閲覧し、コメントや受講者へのメッセージを入力した。オムニバス科目等(複数担当者科目)については、該当教員全員が閲覧でき、コメントを入力できるシステムとした。

3-5. 回答者のプロフィール

アンケート対象科目の受講登録者総数と、有効回答数および有効回収率は下表のとおりである。

【回収率】

【実施講義数】

適用	
登録者数	37,605
有効回答数	20,359
有効回収率	54.13%

適用	
回答対象講義数	1,093
集計対象回答講義数	738
実施講義率	67.52%

(3人以上の受講生)

(3人以上の回答数)

(参考: 14 前期 55.47% 後期 53.16% 13 前期 63.75% 後期 50.81%)

* (有効回答数) = 期間内回答者数

* (有効回収率) = (有効回答数) / (登録者数)

【クラスサイズ別回収率】

回収率 クラスサイズ	100-91%	90-81%	80-71%	70-61%	60-51%	50-41%	40-31%	30-0%	合計
1-10	12	11	13	5	3	10	2	6	62
11-20	24	27	26	19	13	12	9	22	152
21-30	27	42	28	25	13	4	3	12	154
31-40	21	12	18	8	13	10	2	10	94
41-50	12	12	9	12	5	5	5	7	67
51-60	6	4	2	9	6	2	2	4	35
61-70	6	4	2	7	3	2	2	3	29
71-100	1	6	3	7	12	5	3	13	50
101-150	6	11	7	6	5	4	4	13	56
151-	1	3	2	3	3	4	7	12	35
合計	116	132	110	101	76	58	39	102	734

